

■ 福岡城跡整備基本計画(原案) [概要版]

別紙3

1. 整備基本計画策定の目的

(1) 目的

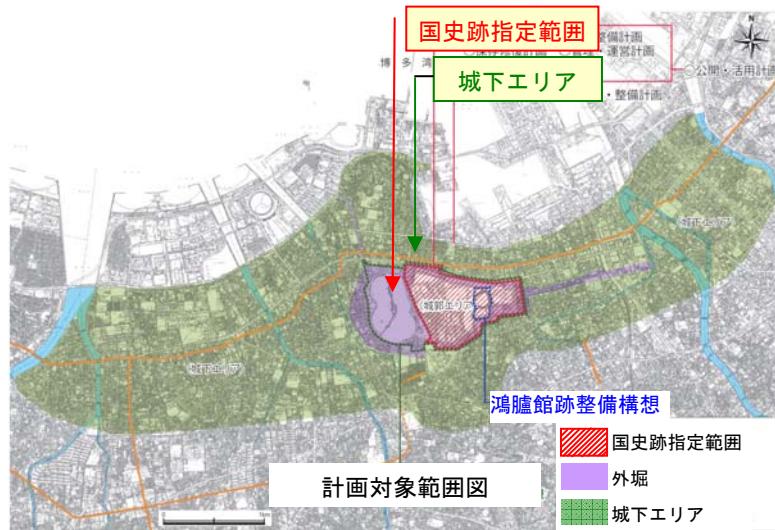
- ①「国史跡福岡城跡」を適切に保存
- ②確実に次世代にその歴史的価値を継承
- ③本市の歴史・文化・まちづくりへの寄与

(2) 想定期間

平成 26 年度～平成 40 年度までの 15 年間

(3) 対象範囲

- ①「国史跡福岡城跡」の指定範囲
- ②周辺環境整備のため城下エリアも対象



2. 整備の理念と方針

(1) 基本理念

- ①福岡城を本市の歴史的および文化財保護の象徴とし、後世へ継承。
- ②観光やまちづくり、文化財活用ネットワークの拠点化。
- ③魅力ある多面的な活用を市民一体となって推進。

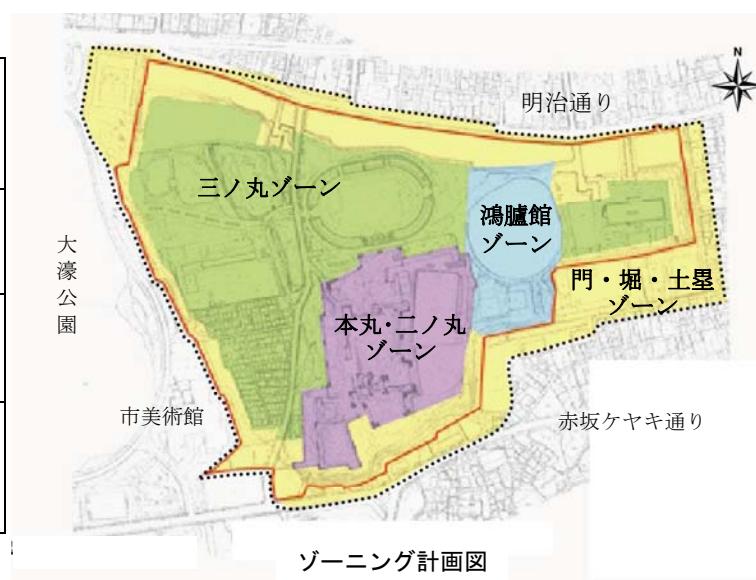
(2) 基本方針

- ①復元対象時期は幕末期(史跡鴻臚館跡を除く)。
- ②文化財的価値の保存と調和ある顕在化の推進。
- ③歴史の重層性をわかりやすく表現。
- ④史跡地内の現代諸施設の廃止・移転を推進。
- ⑤史跡と都市公園が調和した良好な景観を形成。
- ⑥学び、楽しめる空間や機能を整備。
- ⑦「ユニバーサル都市 福岡」の理念を配慮した整備。

3. 基本計画

(1) ゾーニング

| (区分) | (整備の考え方) |
|-----------|-----------------------------------|
| 本丸・二ノ丸ゾーン | ・櫓等を重点的に復元整備 ・城郭としての景観形成と保全 |
| 三ノ丸ゾーン | ・市民の活用と憩いの場づくり ・城の雰囲気を活かした空間形成 |
| 門・堀・土塁ゾーン | ・外部からみた「城らしさ」の修景 |
| 鴻臚館ゾーン | ・鴻臚館と福岡城双方の調和した景観形成 ・歴史の重層性を表現 |



4. 事業計画

(1) 段階的事業計画の推進

短期（5年）

- 『福岡城跡の骨格の顕在化による魅力発信と誘客』
- 復元: 潮見櫓
 - 修理: 長屋門、多聞櫓、石垣
 - 事業費: 約 20 億円

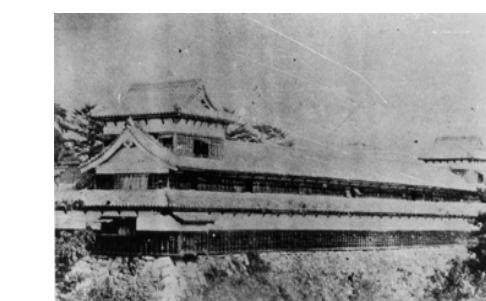
中期（6～15年）

- 『福岡城跡の歴史の重層性の表現と歴史的景観及び利活用の充実』
- 復元: 武具櫓、裏御門、太鼓櫓、祈念櫓、扇坂など
 - 修理: 石垣
 - 事業費: 約 50 億円

将来像（16年～）（参考）

- 『福岡城跡を歴史資源保存・活用のシンボルに』
- 復元: 花見櫓、表御門、本丸御殿など
 - 修理: 石垣など

福岡城跡整備基金（仮称）の創設・寄付募集～市民と一緒に整備の推進～



城内にあった頃の武具櫓(古写真)

福岡城最大規模の建造物
長さ約 63m、三階櫓高さ約 13m

